

株主の皆様とテクマトリックスを
つなぐIRマガジン「テクマティズム」

TECHMATISM

第35期 第2四半期報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで
テクマトリックス株式会社

TechMatrix

証券コード **3762**





未来創造型企業として、
新規事業の創出に向けた取り組みを強化し、
事業構造改革を推進していきます。

代表取締役社長

由利 孝

2019年3月期第2四半期までの状況

2019年3月期第2四半期連結累計期間における国内企業のIT投資は、堅調な業績を背景に前向きな姿勢を維持しており、AIやIoTなど新技術分野に対する研究開発投資も拡大基調が続いております。

そうした中で当社の連結業績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の全ての指標で過去最高を記録し、期初発表の業績見通しを超過する増収増益を達成しました。米国の関税引き上げや段階的な利上げなど、今後の懸念材料はありますが、通期計画も達成に向けて順調に進捗する予定です。

情報基盤事業では、Microsoft社Office 365との連携ソリューション等による新規需要の開拓が進み、次世代ファイアウォールや、放送局を中心としたメディア・エンタテインメント分野向けのストレージ製品の販売が好調

でした。ネットワーク端末脅威対策プラットフォームや次世代型メールセキュリティ、AIを活用した次世代アンチウイルス等の新分野のセキュリティ対策製品も順調に受注実績が増加しました。

アプリケーション・サービス事業では、医療システム関連事業を株式会社NOBORIとして分社化し、医療情報クラウドサービス「NOBORI」の受注が順調に推移しました。

第2四半期決算ハイライト

	前第2四半期 (百万円)	当第2四半期 (百万円)	前年同期比
売上高	11,028	12,117	9.9%
営業利益	556	944	69.7%
経常利益	697	888	27.4%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	447	585	30.8%

また、既存ユーザの契約更新も取りこぼしなく進んでいることから、契約施設数も着実に積み上がっています。

CRM分野では、次世代製品の市場への投入、大手システム・インテグレーターやテレマーケティング・ベンダーとの業務提携、クラウド需要の拡大、知名度の向上と実績の拡大等により、堅調に受注を積み上げました。ASEAN地域での受注実績も増加しました。

ソフトウェア品質保証分野では、自動車のIT化に伴い車載ソフトウェア向けのソフトウェアテストツールの販売が伸長しました。オープンソース・ソフトウェア(OSS)に対するコンプライアンス・セキュリティ管理ツールの販売にも着手しました。インターネットサービス分野では、既存顧客向けのシステム開発案件及びBI関連ビジネスが堅調に推移しました。

新中期経営計画「GO BEYOND 3.0」を軸に進める事業構造改革

当社は、2018年5月22日に新中期経営計画「GO BEYOND 3.0」を発表しました。「GO BEYOND 3.0」では、インターネットを中心としたITによる破壊的イノベーションがもたらす産業構造の激変の中で、当社グループの持続可能な成長基盤の構築と、新規事業の創出による事業構造の改革を目指しています。

新中期経営計画では、前中期経営計画「TMX 3.0」の「クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進」と「セキュリティ&セイフティの追求」という基本方針を維持しつつ、全事業領域における「サービス化の加速」や、「AIの利用を含むデータの利活用」、「BtoC(消費者向けビジネス)への参入」等、ビジネスとしてのコンテンツの大変革に取り組みます。それらに加え、内部経営資源を統合する「事業運営

基盤の強化」、外部経営資源と連携する「事業運営体制の多様化」、「金庫株の活用を視野に入れたM&A」、そして「海外市場での事業の加速」等を推進します。

新規事業開発室も設置し、事業創出に向けた取り組みを強化しています。既に自己株式の消却と金庫株の現金化を企図した第三者割当による新株予約権発行を行い、将来のM&Aや資本業務提携に向け、資金調達及び資本増強に踏み出しました。既存のビジネスのオーガニックな成長を続けながら、新中期経営計画に沿って未来への種まきを着実に行っていきます。

株主の皆様へ

当期の期末配当は前期比3円増配の1株当たり23円を予定しています。今後も、配当性向20%以上という還元方針に基づき、通期業績の利益水準に合わせて随時増配の検討を行います。

当社株式は、株式会社東京証券取引所及び株式会社日本経済新聞社が共同で算出する「JPX日経中小型株指数」の2018年度(2018年8月31日～2019年8月29日)の構成銘柄に選定されました。また、株式会社NOBORIが展開する医療情報クラウドサービス「NOBORI」の活動が評価され、経済産業省と東京証券取引所による「攻めのIT経営銘柄2018」において「IT経営注目企業2018」に選定されました。

今後も幅広い投資家の皆様に注目いただけるよう、企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続き当社へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新中期経営計画「GO BEYOND 3.0」

事業戦略

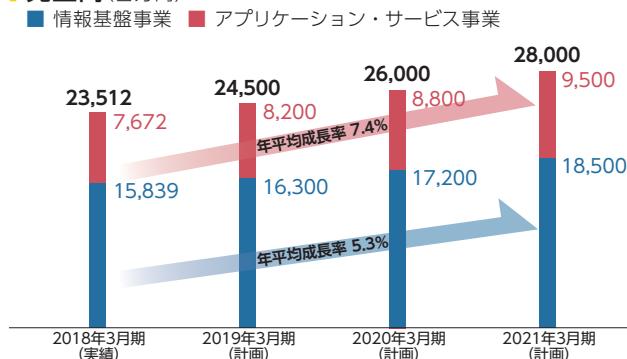
前中期経営計画「TMX 3.0」の中核的な事業戦略は継続して推進し、**新規事業創出**に向けて事業戦略1～7を追加

 クラウド関連事業の 戦略的・加速度的推進	+	1 事業運営体制の多様化	資本提携、業務提携、大学・研究機関との連携、オープンイノベーション
		2 サービス化の加速	全領域
 セキュリティ&セイフティ (安心と安全)の追求		3 データの利活用	AIの利用を含む
		4 BtoCへの参入	消費者向けビジネス
		5 海外市場での事業を加速	市場探査モードから次のステップへ
		6 事業運営基盤の強化	グループ横断・事業部門内での人財や技術の有効活用、各分野の融合による新しい価値の創出、人財への投資と次世代の育成、企業理念に基づく採用・育成・評価・リテンション
		7 M&A	金庫株の活用を含む

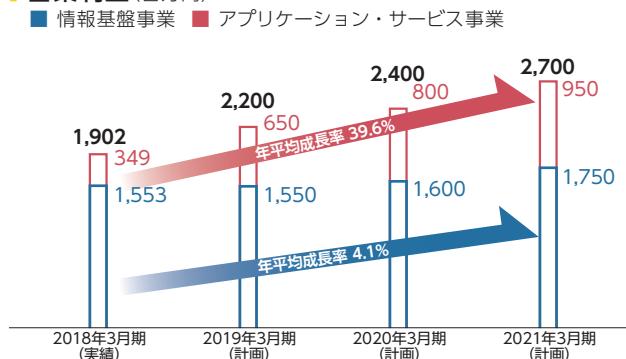
計画値

売上高、営業利益ともに成長を継続し、バランスのとれた事業構成へ

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



株式会社NOBORI設立

2018年4月にテクマトリックス医療システム事業部は「株式会社NOBORI」として新スタートしました。医療情報クラウドサービス「NOBORI」の受注は好調で、累積契約施設数も順調に増加しています。加えて、既存ユーザのサービス更新契約も100%の更新率を保っています。また、「NOBORI」ユーザ向け多機能クラウドサービス「NOBORI PAL」には2種類の新サービスを加え、現在は医療向け音声入力、検査予約、院外画像参照などの機能を提供。2018年度中にさらに3種類のサービスの追加を予定しています。



JPX日経中小型株指数の構成銘柄に選定

当社は、株式会社東京証券取引所及び株式会社日本経済新聞社が共同で算出する「JPX日経中小型株指数」の2018年度（2018年8月31日～2019年8月29日）の構成銘柄（全200銘柄）に選定されました。

「JPX日経中小型株指数」は、「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とする「JPX日経インデックス400」の考え方を中小型株にも適用し、資本の効率的活用や投資者を意識した経営を行う企業を構成銘柄としています。構成銘柄は、東証1部、東証2部、マザーズ、JASDAQを主市場とする普通株式を対象に、投資者にとって投資魅力の高い中小型株200銘柄で構成され、2017年3月13日より算出が開始されています。

本指数の銘柄に採用されたことにより、これからますます幅広い投資家の皆様に注目いただき、ご期待に沿えるよう、企業価値の向上を目指してまいります。



「IT経営注目企業2018」に選定

当社は、経済産業省と東京証券取引所による「攻めのIT経営銘柄2018」において、「IT経営注目企業2018」に選定されました。

「攻めのIT経営銘柄」は、東京証券取引所の上場会社の中から、中長期的な企業価値の向上や競争力の強化といった視点から戦略的にIT活用に取り組む企業を選定するものです。また、銘柄に準ずる高い評価を受けた企業や注目される取り組みを行う企業を「IT経営注目企業」として選定しています。

今回、当社の連結子会社である株式会社NOBORIが行っている「医療情報クラウドサービス「NOBORI」ビジネスの推進」が評価のポイントとなりました。

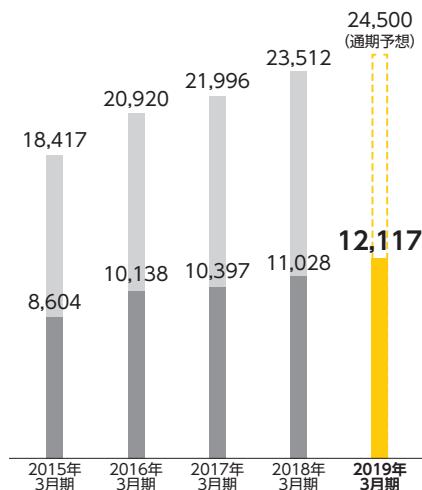
今後は、医療情報クラウドサービス「NOBORI」をベースとして、AI（人工知能）を活用した開発プロジェクトの支援サービス、患者向けの情報サービス等、新たな事業を展開していきます。



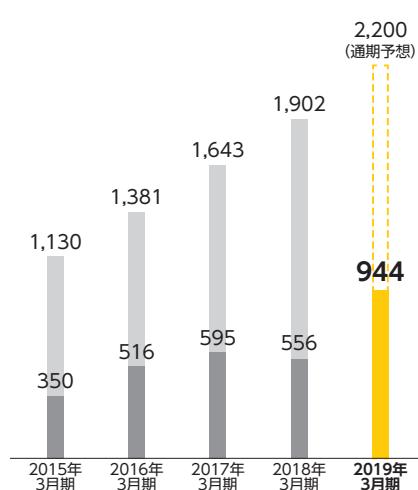
後列 右から4人目 由利社長

損益の状況／資産の状況

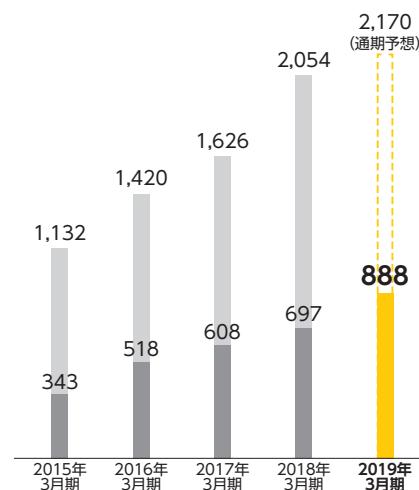
売上高 (百万円)



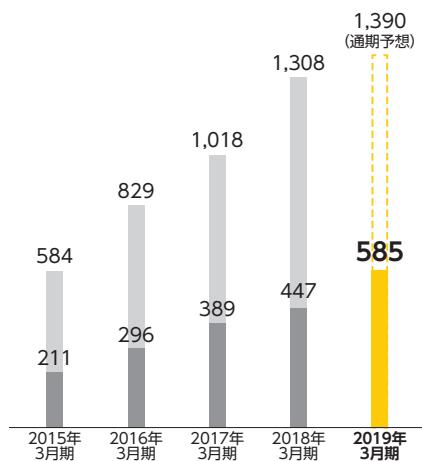
営業利益 (百万円)



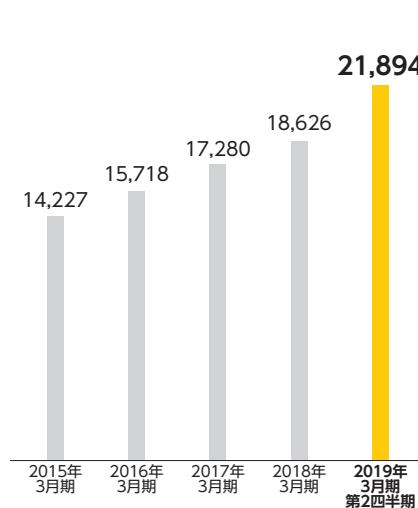
経常利益 (百万円)



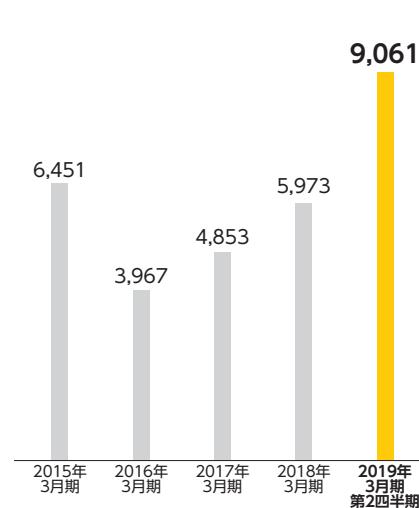
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)



総資産 (百万円)



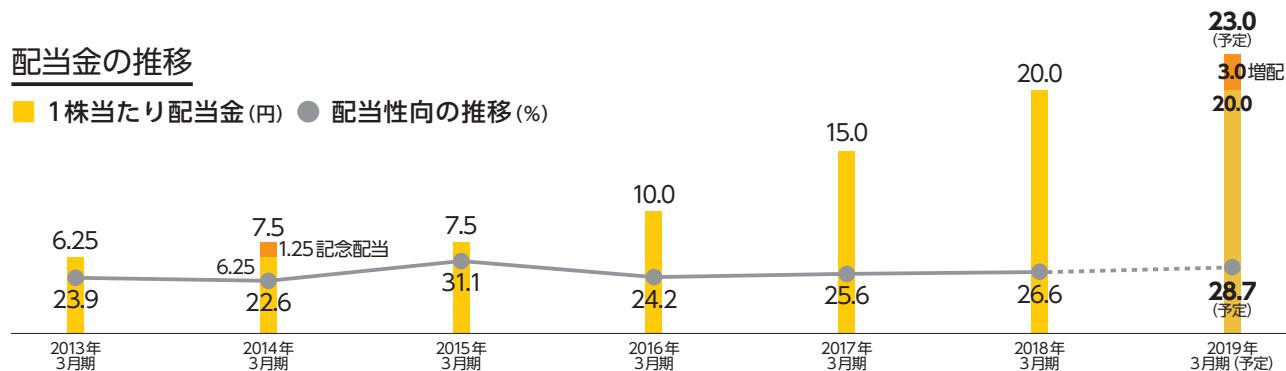
純資産 (百万円)



※ 純資産の減少は2015年8月21日に実施した自己株式取得によるものです。

配当金の推移

■ 1株当たり配当金(円) ● 配当性向の推移(%)



※2013年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行い、さらに2017年3月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っています。そのため2013年3月期期首にこれら株式分割が行われたと仮定して、配当金を表示しています。

※2019年3月期の配当性向は、2019年3月期の業績予想と、2018年3月期の期中平均株式数で算出しています。

利益配分に関する基本方針

当社は、株主価値の向上の一環として株主に対する利益還元を重要課題と位置付けております。利益配分に関する基本方針は、株主への利益還元と内部留保充実のバランスを総合的に判断し、決定しております。配当政策としては、期末業績における連結での配当性向20%以上を基本方針としております。この方針に基づき、2019年3月期の配当は1株につき23円とする予定です。

株主優待のご紹介

対象

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株以上の当社株式を保有する株主様

優待内容

500株以上	1,000円相当の商品または寄付
1,000株以上	3,000円相当の商品または寄付

株主優待の一例



国産牛
サーロインステーキ



モンレーヴ
ガトーショコラパレット



横浜本牧亭
ビーフカレー

※写真はイメージであり、実際の商品と異なる場合がございますのでご了承ください。

当社は、株主の皆様の日ごろからのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に当社株を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、株主優待をご提供しています。

昨年度のお申込みは88.6%と、多くの株主様にご好評をいただいております。今後も継続して実施を予定しております。

■ 会社概要

商号 テクマトリックス株式会社
(英語名: TECHMATRIX CORPORATION)
設立 1984年8月30日
上場 2005年2月18日
証券コード 3762
資本金 12億9,812万円
従業員数 1,079名(連結)

■ 役員の状況

代表取締役社長	由利 孝
取締役上席執行役員	依田 佳久
取締役上席執行役員	矢井 隆晴
取締役執行役員	鈴木 猛司
社外取締役	安武 弘晃
社外取締役(常勤監査等委員)	佐々木英之
社外取締役(監査等委員)	高山 健
社外取締役(監査等委員)	三浦 亮太
社外取締役(監査等委員)	杉原 章郎

■ 株式の状況

発行可能株式総数	82,944,000株
発行済株式の総数	22,259,200株
株主数	3,897名

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
株主優待 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

内定式を行いました



2018年10月1日、テクマトリックス(株)・(株)NOBORIの2019年春入社予定者の内定式を行いました。来春入社予定の内定者は新卒採用開始以来最大の人数となりました。内定証書を授与するとともに、訓示を行い、新社会人となる内定者にエールを送りました。

ダイバーシティ推進による戦力強化を意識しての採用活動を行った結果、女性内定者の比率も上昇し、外国籍の内定者も増加傾向にあります。

内定式後は懇親会を実施し、春から仲間入りするテクマトリックス・NOBORIの社員たちと親睦を深めました。

Pick Up

ピックアップ



テクマトリックス株式会社 証券コード: 3762

〒108-8588 東京都港区三田3-11-24 国際興業三田第2ビル
TEL: 03(4405)7800(代表) FAX: 03(6436)3500

